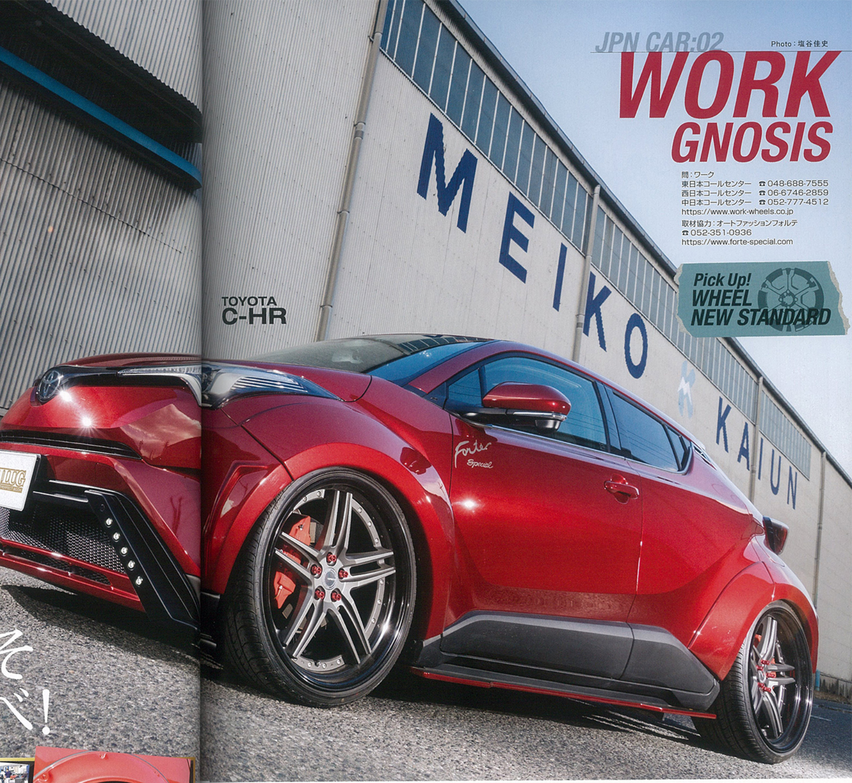


JPN CAR:02

Photo：塩谷佳史

WORK GNOSIS

問：ワーク
東日本コールセンター ☎048-688-7555
西日本コールセンター ☎06-6746-2859
中日本コールセンター ☎052-777-4512
https://www.work-wheels.co.jp

取材協力：オートファッションフォルテ
☎052-351-0936
https://www.forte-special.com

Pick Up!
WHEEL
NEW STANDARD

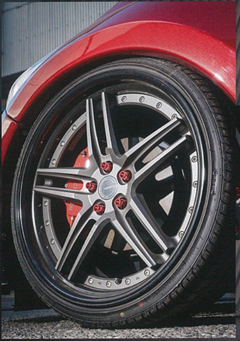
TOYOTA
C-HR

スポーツだからこそ ドレッシーにアソベ！

名古屋のウインコーポレーションが手掛けるフォルテ名義のC-HRのスタイリングが思いの外マッシブで正直驚いている。トヨタが描いたスタイリング自体もかなりハードコアな衝撃を受けたが、それをはるかに上回るマッチョぶり。前後スポイラーにサイドスポイラー、なにより目立つ前後オーバーフェンダー。エアロレススタイルが定番化しつつあるなか、これほどアグレッシブな肢体をアピールする装いはなく、C-HRの個性を強調しているように映る。

　また、デイライトやマフラーカッター、レーシングパイプといった機能部品も充実しており、フォルテひとつあればC-HRのカスタマイズは完熟するといっても過言ではないほどだ。が、とくれば問題はフットワークであり、かつ足もとが決まらなければドレスアップは完遂せず。そこでご登場願うのがワーク・グノーシスGR205、シンプルなツインファイブスポークデザインが与えられた2ピースモデルであり、リッチな大人の高級感を訴求する1本である。

　ACCエアランナーによる超低空化もポイントのひとつとはいえ、じつはこのアルミこそがフォルテC-HRの魅力をかさ増ししており、骨太な印象のなかにもきらりと華を添えているのだ。実装サイズは前後9・5J×21インチ。ブラックアルマイトリム×マットカーボンでカラーリングされたシンプルなデザインは、欧州正調の味わいを宿す。マルチピースならではの端正な顔立ちは、マッシブなボディアレンジを受けたC-HRにどっしりとした芯を根下ろしているのだ。アバンギャルド×ストレート。エアロ、エアサス、そしてワークのアルミ。その三位一体ぶりが、素晴らしい。



GR205

●装着サイズ
F=21インチ×9.5J＋30
R=21インチ×9.5J＋15
●価格：6万4000円～14万4000円
●サイズ：18×7.0J～21×12.5J
●カラー：マットシルバー／マットブラック／ブラッシュド／バフフィニッシュ他

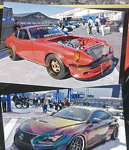
リブ付きのマッシブなツインファイブスポークデザインが特徴的なGR205。マルチピースならではの豊富なサイズ設定と、ワークらしい多彩なオプションカラー設定が、高品位な表情を醸し出す。派手やかな四肢にもアダルトな肢体にも似合う、上品なデザインこそが最大の魅力であり、グノーシス・シリーズの系譜を確かに引き継ぐ。

フォルテが描くアグレッシブなフォルムはC-HRの印象を見事に加速させており、純正OP並みの完成度を誇る。各種機能部品も溶け込んでいる。

ACCエアランナーも美しくディスプレイされており、外装並みに魅せる要素が高い。こういう部分にも手を抜かないのがミソ。

SEMA最旬PICK UP

チームジャパンの牽引役こそワークのマルチピース技術

「メイド・イン・ジャパンの共演」を強く訴えるかのように今年のSEMAでは「国産車+ワーク」のコラボレーションが目立っていた。その一例として、同じく日本ブランドであるトーヨータイヤブースに並べられた２台に注目したい。マジョーラカラーで彩られたRC Fには新作ワークエモーションが。PANDEMのワイドフェンダーに見合うディープリムスタイルを構築する。さらにS30Zにはワークの40周年を記念して生まれたEQUIP 40が装着されていた。肉厚のプロクセスR888がみっちりフェンダーに収まる姿がカッコいい。ワークの得意技術であるマルチピース製法が、時代を超越して日本車のワイドフェンダーカスタムに貢献していることを再確認した。